

小学校 国語A



各教科において、「伝え合い」を学習活動に位置付ける授業が増えていきます。伝え合いは、音声言語と文字言語の両面をもっています。学習のねらいを達成するためには、国語科で**話す能力**と**聞く能力**を育成することが重要になります。

設問三

話の内容に対する聞き方を工夫することができるかどうかをみる。

代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生【青木さんの心の声】という場面を設定し、聞き手がどのような聞き方を工夫しているかとらえる問題

(全国学力・学習状況調査の実際の問題をご覧ください。)

〔第5学年及び第6学年〕「A 話すこと・聞くこと」

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。



「話すこと・聞くこと」の学習では、児童が活発に話し合いを行い、満足して授業を終えても、テスト問題に適應できないことが多い。また、個人差が大きく、指導方法や評価で苦勞ばかり・・・

「話すこと・聞くこと」の学習では、教師が指導のねらい(学習指導要領の指導事項をもとに設定)を明確にもつことが大切です。一方、児童には、**相手意識**、**目的意識**、**意図意識**、**方法意識**、**評価意識**をもたせて、話したり聞いたりするように指導することが重要です。そのため、問題は、具体的な場面を設定するものが多いです。



学習指導に当たって大切なこと



- 相手の話を聞く際は、自分や自分たちに伝えたいことは何か、共に考えたいことは何かなど、相手の話の目的や意図を捉えながら内容を十分に聞き取ることができるように指導する。
- 聞き取った内容について、自分の考えと比べて共通点や相違点に分類したり、関連して考えたことなどを整理したりすることによって、相手の目的や意図を捉えつつ、自分の考えをまとめることができるように指導する。
- 必要に応じて、メモを取りながら整理して聞いたり、取ったメモの内容を整理して相互関係を考えたりする。

メモを有効に活用



〈メモの内容〉

- ・話のテーマ、テーマを設定した理由
- ・話し手の立場や結論
- ・結論に結び付く理由や事例
- ・話の内容に対する自分の考え（質問や感想、意見）

〈メモの分量〉

- ・短くまとめること（箇条書きやキーワードなどの単語のみを書くなど）
- ・図や表などを効果的に用いること



メモを取ったり活用したりすることは、国語科の学習のみならず、**各教科等の学習**や**日常生活**においても行われることです。その際に、国語科の学習を生かすことにより、さらに、話す能力と聞く能力が高まります。

メモは、「話すこと・聞くこと」の**評価**に活用できます。さらに、児童にとっては、学習のあしあとにもなります。

